

平成28年 5月16日

各 位

会社名 株式会社メディビックグループ  
代表者名 代表取締役社長 窪 島 肇  
(コード番号 2369：東証マザーズ)  
問合せ先 取締役管理本部長 川 畑 譲  
(Tel: 03-5439-9691)

(訂正・数値データ訂正)「平成28年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」  
の一部修正について

当社は、平成28年2月12日に発表した表記開示資料について訂正がありましたのでお知らせします。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信します。

## 記

### 1. 訂正の経緯及び理由

当社は、当社の連結子会社である、株式会社アニマルステムセルが締結している、平成27年8月7日付「自動培養装置開発権地位譲渡契約」にかかる連帯保証について、債務発生の可能性を外部からの指摘により改めて検討した結果、当該債務における催告書を受領した平成28年3月14日が当該債務保証に対し引当金を設定するのが妥当との結論に至り、債務保証引当金216百万円を特別損失として計上いたしました。

平成28年5月11日開示の平成28年12月期 第1四半期決算短信開示時点では、取締役から会計監査人への本件に対する情報の報告が漏れており、その後事実確認と引当金の設定時期について平成28年5月13日より社内および会計監査人と協議した結果、今回修正するものであります。

なお、上記平成27年8月7日付「自動培養装置開発権地位譲渡契約」にかかる連帯保証についても、注記未記載であったため、平成28年5月16日付で、訂正四半期報告書（第16期第3四半期平成27年7月1日～平成27年9月30日）、訂正有価証券報告書（第16期平成27年1月1日～平成27年12月31日）を提出しております。

### 2. 訂正の内容

訂正前及び訂正後の記載内容につきまして以下のとおりであります。

なお、訂正箇所は\_\_\_\_を付して表示しております。

<サマリー情報>

訂正前

1. 平成28年12月期第1四半期の連結業績（平成28年1月1日～平成28年3月31日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第1四半期	52	46.9	△114	—	△111	—	△112	—
27年12月期第1四半期	35	△28.6	△113	—	△139	—	△145	—

(注) 包括利益 28年12月期第1四半期 △112 百万円(—%) 27年12月期第1四半期 △145 百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第1四半期	<u>△3.81</u>	—
27年12月期第1四半期	△4.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第1四半期	346	284	74.3
27年12月期	434	396	85.2

(参考) 自己資本 28年12月期第1四半期 257百万円 27年12月期 369百万円

3. 平成28年12月期の連結業績予想（平成28年1月1日～平成28年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	108	127.5	△80	—	△78	—	△79	—	<u>△2.72</u>
通期	364	249.0	5	—	8	—	3	—	<u>0.12</u>

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

訂正後

1. 平成28年12月期第1四半期の連結業績（平成28年1月1日～平成28年3月31日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第1四半期	52	46.9	△114	—	△111	—	<u>△328</u>	—
27年12月期第1四半期	35	△28.6	△113	—	△139	—	△145	—

(注) 包括利益 28年12月期第1四半期 △328百万円(—%) 27年12月期第1四半期 △145百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第1四半期	<u>△11.15</u>	—
27年12月期第1四半期	△4.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第1四半期	346	68	12.0
27年12月期	434	396	85.2

(参考) 自己資本 28年12月期第1四半期 41百万円 27年12月期 369百万円

3. 平成28年12月期の連結業績予想 (平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、通常は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	当期純利益
第2四半期(累計)	108	127.5	△80	—	△78	—	△295	—	円 銭
通期	364	249.0	5	—	8	—	△213	—	△10.03
									△7.24

<1. 当四半期決算に関する定性的情報>

(1) 経営成績に関する説明

訂正前

省略

	実績(千円)	対前年同期増減(千円)
売上高	52,267	16,676
営業損失	114,430	706
経常損失	111,442	△28,369
親会社株主に帰属する四半期純損失	112,028	△33,303

省略

(2) 財政状態に関する説明

省略

純資産は、前連結会計年度末に比べ112,118千円減少し、284,012千円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純損失112,028千円を計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月12日付「平成27年12月期決算短信」において公表いたしました平成28年12月期の連結業績予想に変更はございません。

訂正後

省略

	実績(千円)	対前年同期増減(千円)
売上高	52,267	16,676
営業損失	114,430	706
経常損失	111,442	△28,369
親会社株主に帰属する四半期純損失	<u>328,028</u>	<u>△182,696</u>

省略

## (2) 財政状態に関する説明

省略

純資産は、前連結会計年度末に比べ328,118千円減少し、68,012千円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純損失328,028千円を計上したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月16日付「特別損失の計上及び平成28年12月期第2四半期並びに通期(連結)の業績予想の修正に関するお知らせ」にて変更しております。

## < 3. 継続企業の前提に関する重要事象等 >

訂正前

当社グループは、営業損失、経常損失、親会社株主に帰属する当期純損失及び営業活動によるキャッシュ・フローにおきまして前連結会計年度まで継続してマイナスを計上しており、当第1四半期連結累計期間におきましても営業損失114,430千円、経常損失111,442千円、親会社株主に帰属する四半期純損失112,028千円を計上するに至っており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社グループにおきましては、当該状況を解消すべく安定した財務基盤の確立に向けて「事業収益の拡大」を経営の柱として取り組んでおります。

訂正後

当社グループは、営業損失、経常損失、親会社株主に帰属する当期純損失及び営業活動によるキャッシュ・フローにおきまして前連結会計年度まで継続してマイナスを計上しており、当第1四半期連結累計期間におきましても営業損失114,430千円、経常損失111,442千円、親会社株主に帰属する四半期純損失328,028千円を計上するに至っており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社グループにおきましては、当該状況を解消すべく安定した財務基盤の確立に向けて「事業収益の拡大」を経営の柱として取り組んでおります。

< 4. 四半期連結財務諸表 >

訂正前

(1) 四半期連結貸借対照表

省略

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	8,689	8,412
短期借入金	—	15,000
1年内返済予定の長期借入金	2,141	2,148
未払法人税等	7,426	3,983
その他	17,941	31,800
流動負債合計	36,198	61,345
固定負債		
長期借入金	1,883	1,343
その他	12	12
固定負債合計	1,896	1,355
負債合計	38,094	62,701
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,969,435	2,969,435
資本剰余金	3,502,633	3,502,633
利益剰余金	△6,102,287	△6,214,316
株主資本合計	369,781	257,752
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	△89
その他の包括利益累計額合計	—	△89
新株予約権	26,350	26,350
純資産合計	396,131	284,012
負債純資産合計	434,225	346,714

修正後

省略

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	8,689	8,412
短期借入金	—	15,000
1年内返済予定の長期借入金	2,141	2,148
未払法人税等	7,426	3,983

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
債務保証損失引当金	—	216,000
その他	17,941	31,800
流動負債合計	36,198	277,345
固定負債		
長期借入金	1,883	1,343
その他	12	12
固定負債合計	1,896	1,355
負債合計	38,094	278,701
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,969,435	2,969,435
資本剰余金	3,502,633	3,502,633
利益剰余金	△6,102,287	△6,430,316
株主資本合計	369,781	41,752
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	△89
その他の包括利益累計額合計	—	△89
新株予約権	26,350	26,350
純資産合計	396,131	68,012
負債純資産合計	434,225	346,714

< (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 >

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

修正前

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)
売上高	35,590	52,267
売上原価	18,219	23,894
売上総利益	17,371	28,372
販売費及び一般管理費	131,094	142,802
営業損失(△)	△113,723	△114,430
営業外収益		
受取利息	278	1,115
助成金収入	486	486
貸倒引当金戻入額	583	1,144
その他	1	275
営業外収益合計	1,349	3,020
営業外費用		
支払利息	26	30
支払手数料	600	—



(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)
貸倒引当金戻入額	583	1,144
その他	1	275
営業外収益合計	1,349	3,020
営業外費用		
支払利息	26	30
支払手数料	600	—
貸倒引当金繰入額	26,792	—
その他	19	2
営業外費用合計	27,438	33
経常損失(△)	△139,812	△111,442
特別利益		
固定資産売却益	1,651	—
特別利益合計	1,651	—
特別損失		
固定資産廃棄損	6,549	—
債務保証損失引当金繰入額	—	216,000
特別損失合計	6,549	216,000
税金等調整前四半期純損失(△)	△144,710	△327,442
法人税、住民税及び事業税	621	585
法人税等合計	621	585
四半期純損失(△)	△145,331	△328,028
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△145,331	△328,028

### 〈(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項〉

#### 修正前

(継続企業の前提に関する注記)

当社グループは、営業損失、経常損失、親会社株主に帰属する当期純損失及び営業活動によるキャッシュ・フローにおきまして前連結会計年度まで継続してマイナスを計上しており、当第1四半期連結累計期間におきましても営業損失114,430千円、経常損失111,442千円、親会社株主に帰属する四半期純損失112,028千円を計上するに至っており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

#### 修正後

(継続企業の前提に関する注記)

当社グループは、営業損失、経常損失、親会社株主に帰属する当期純損失及び営業活動によるキャッシュ・フローにおきまして前連結会計年度まで継続してマイナスを計上しており、当第1四半期連結累計期間におきましても営業損失114,430千円、経常損失111,442千円、親会社株主に帰属する四半期純損失328,028千円を計上するに至っており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

以上